

第3学年国語科 学習指導案

2013年12月5日(木) 5校時

3年1組(男子10名 女子9名 計19名) 本時 5/10

授業者 T1 松岡 舞

T2 渡邊 智穂

- 1 **単元名** はたらく犬について調べよう
教材名 「もうどう犬の訓練」 (東京書籍3年下)

2 単元の目標

- 働く犬について図鑑や科学読み物などを使って調べたいという意欲を持ち、解決の手掛かりとなる本や文章を読もうとすることができる。 (関心・意欲・態度)
- 働く犬について知りたいことを調べ、「はたらく犬 ものしりカード」にまとめるために必要な情報は何かを考えながら読み、要約することができる。 (C 読むこと (エ))
- 指示語や接続語を手掛かりに文や段落相互の関係をとらえて、文章を読むことができる。 (言イ (ク))

3 単元について

(1) 単元観

①本単元で取り上げる主な指導事項

小学校学習指導要領国語の第3学年及び第4学年「C 読むこと」の指導事項「エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。」を取り上げて指導する。

②単元を貫く言語活動とその特徴

「C 読むこと」の言語活動例「オ 必要な情報を得るために、読んだ内容に関連した他の本や文章などを読むこと。」を具体化した「働く犬について知りたい情報を得るために関連した本を読み、必要な情報を要約して「はたらく犬 ものしりカード」にまとめて読み合う。」という言語活動を位置付ける。

ここで取り上げる「はたらく犬 ものしりカード」は、自分が知りたい働く犬の疑問の答えや必要な情報を、関連した本の中から集め、要約するものである。並行読書を行うことで、児童は自分が知りたいと思った働く犬について書かれた本を選んで読んでいく。その際、知りたいことの答えを探しながら本を読んでいくことで「必要な情報を得るために、読んだ内容に関連した他の本や文章などを読むこと」(C読むこと オ)を確実に実現できるようにしている。また、必要な情報を要約して「はたらく犬 ものしりカード」にまとめることにより、知りたい課題に応じて興味をもったことをはっきり説明するために、中心となる文や要約に必要な言葉をとらえることで、要約する力がつくと考える。したがって、本単元でねらう「目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること」(C読むこと (エ))を実現するのにふさわしい言語活動である。

本教材は、段落のまとまりがはっきりしていて、犬が盲導犬になるまでの訓練について、順序よく説明されている文章である。文章構成は、はじめ(盲導犬についての説明)→中(盲導犬の訓練の具体例)→おわり(筆者の考えのまとめ)というようになっている。また、それぞれの訓練について、訓練の意味を納得しながら読み進められるようになっており、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、要約することに適した教材である。児童は、並行読書をすることで働く犬について「もっと知りたい」という思いを抱くであろう。そのため、図鑑や科学読み物などのたくさんの文章の中から知りたいことを意欲的に探すことが期待される。教材文でつけた要約する力を使って言語活動を行うことにより、二次で習得した要約する力を三次で活用することができると思う。

(2) 児童観

本学級の児童は、5月「自然のかくし絵」において、中心となる語をおさえて、「はじめ」「なか」「おわり」の文の構成を確認し、カードにまとめる際に必要な言葉や文型をおさえられるように学習をした後、並行読書をした本や図鑑に書かれている内容をカードにまとめる言語活動を行ってきた。また、「ゆうすげ村の小さな旅館」では、物語全体のあらすじをまとめる学習をしており、自分が伝えたい大事な出来事を選んだり、短い言葉で言い換えたりする経験をしてきている。児童は、意欲的に学習に取り組み、カードに自分が必要だと思う文や言葉を見つけることはできるようになってきたが、読んだ本などの中から必要な情報を読み取り、短くまとめることは十分にできていない。原因としては、教材文をそのまま抜き出したり段落相互が結びつくように接続語を使うことを意識させたりすることができていないと考えられる。

4月実施の標準学力調査「説明文の内容を読み取る」の結果を見てみると、全国平均を0.2ポイント下回っていた。その中でも、「事柄の順序などを考えながら内容を読み取る」ことに弱さが見られる。

(3) 指導観

第一次では、ペットとして飼われている犬と働く犬の写真を提示し、児童の興味や関心を高め、教師自作の「はたらく犬 ものしりカード」を紹介する。モデルを示すことで、並行読書しながら働く犬について自分が知りたいことを調べ、カードに答えを短くまとめる(要約する)という言語活動のイメージをもたせ、作成したカードを友だちと読み合うという学習の見通しがもてるようにする。また、教材文の題名から盲導犬について知りたいことを考えさせ、第二次の学習の意欲につなげる。

第二次では、盲導犬について知りたいことが文章のどこにあるかをはっきりさせるために、教材文をはじめ、中、おわりに分け、おおまかな構成をつかむ。そして、「人間の言うことに従う訓練」、「人を安全に導く訓練」について興味をもった児童の発言をきっかけとして、接続語や指示語、興味をもったことをはっきり説明するための中心となる文や、カードに書くために必要な言葉に着目して要約させる。その際、カードに必要な言葉や削除する言葉に線を引かせたり、つなぎ言葉が必要なときは書き加えたりすることで学習の手助けとする。このように、盲導犬について知りたいことに対する答えを教材文から要約することで、「もうどう犬 ものしりカード」に必要な言葉や文を見つけながら読み、要約する力をつけ、第三次の学習につなげる。また、並行読書で、自分が選んだ働く犬のどんなことについて知りたいかをノートに書かせておく。

第三次では、並行読書で選んだ本の中から、「はたらく犬 ものしりカード」を作る上で必要な情報を取り出し、「はたらく犬 ものしりカード」を作成する。最後には、作成したカードを読み合い、学年で交流するようにする。出来上がった「はたらく犬 ものしりカード」は図書室に置いて他の学年にも見てもらうようにする。

(4) 研究テーマとの関連

主体的に児童が学ぶためには、児童自身が単元を通して学ぶ目的を持ち、見通しを持って言語活動を進めていく展開にしていく必要がある。そこで、導入ではペットや働く犬の写真を提示したり、並行読書の本を紹介したりすることで児童の意欲を高める。また、教師が書いた「はたらく犬 ものしりカード」の例を見せることで、単元のゴールイメージを具体的に示し、単元全体の学習の見通しを持たせる。児童は、与えられた指示に従って学習を進めていくのみではなく、自分が知りたい働く犬について並行読書で探しながら、カードに答えを要約するために必要なことは何かを意識して、主体的に学習を進めていくと考えられる。

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	・働く犬について図鑑や科学読み物などを使って調べたいという意欲を持ち、解決の手掛かりとなる本や文章を読もうとしている。
読む能力	・働く犬について知りたいことを調べ、「はたらく犬 ものしりカード」にまとめるために必要な情報は何かを考えながら読み、要約している。(エ)
言語についての 知識・理解・技能	・指示語や接続語を手掛かりに文や段落相互の関係をとらえて、文章を読んでいる。イ(ク)

<言語活動のモデル「はたらく犬 ものしりカード」>

(表)

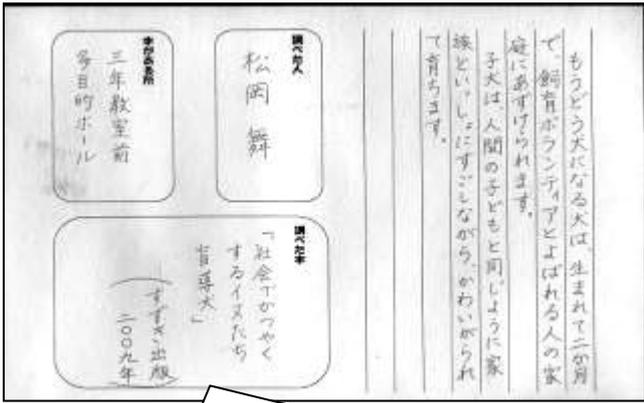


はたらく犬 ものしりカード

もうどう犬になる犬は、
一歳いになるまで、どうや
育てられるのか。

自分が抱いた疑問と
はたらく犬の絵を
かく。

(裏)



調べた人
松岡 舞

調べた本
「社会でつやく
するイヌたち
盲導犬」
すずき出版
二〇〇九年

もうどう犬になる犬は、生まれて二か月
で、飼育がランティアとよばれる人の家
庭に送られます。
子犬は人間の子どもと同じように家
族といっしょにすごしながら、かわいかられ
て育ちます。

疑問に対する答えを要
約して書く。

- ・調べた人
- ・本がある所
- ・調べた本の情報（本の題名、出版社、発行年）も合わせて書く。

5 単元構想図

単元を貫く言語活動

働く犬について知りたい情報を得るために関連した本を読み、必要な情報を要約して「はたらく犬 ものしりカード」にまとめて読み合う。

◇学習の流れ

第一次

- 「はたらく犬 ものしりカード」のモデルを見て、働く犬への興味を持つ。
- 「はたらく犬について調べたことを要約して、ものしりカードにまとめよう」という学習のめあてをもつ。

第二次

並行読書

- 教材文を通読し「はじめ」「中」「おわり」にわけ、大まかな構成をつかむ。
- 「人間の言うことに従う訓練」「人を安全に導く訓練」を接続語や指示語、興味をもったことをはっきり説明するための中心となる文や、カードに書くために要約する際、必要な言葉に着目し要約する。
- ものしりカードの構成を確認し、自分が疑問に思ったことの答えを要約してカードに書く。

第三次

- 選んだ本の中から、「はたらく犬 ものしりカード」をつくる上で必要な情報を取り出す。
- 自分の書きたいはたらく犬の「はたらく犬 ものしりカード」を作る。
- 友だちと「はたらく犬 ものしりカード」を読み合い、感想を交流する。

◇意識の流れ

【児童の実態】

読んだ本などの中から必要な情報を読み取り、短くまとめる力が弱い。

- ・働く犬って何だろう。
- ・「はたらく犬 ものしりカード」を作りたいな。
- ・盲導犬について知りたいことを書こう。

- ・自分の知りたいことは、文章のどこにあるのだろう。
- ・どんな訓練をするのかな。
- ・カードに必要な言葉は何だろう。
- ・教材文の中から答えを見つけて要約しよう。

- ・本や図鑑には知らないことがたくさん書いてあるな。
- ・身に付けた方法でものしりカードに要約することができたよ。
- ・要約した文章は、知りたいことの答えになっているかな。
- ・〇〇さんのカードは、上手に要約できているな。

単元で付けたい力

- ・目的や必要に応じて、自分が選んだ本の文章を要約する力。

6 指導計画及び評価計画（全10時間）

	時	学習活動	主な評価規準
第一次	1	○「はたらく犬 ものしりカード」のモデルを見る。 ○「はたらく犬について調べたことを要約して、ものしりカードにまとめよう」という学習のめあてをもつ。	【関】「はたらく犬ものしりカード」を作ることに関心を持ち、自分が読む本を選び、読もうとしている。 (発言・行動・ノート)
第二次	2	○教材文を「はじめ」「中」「おわり」にわけ、大まかな構成をつかむ。	【言】指示語や接続語を手掛かりに文や段落相互の関係をとらえて、文章を読んでいる。 (発言・ノート・教材文)
	3	○「人間の言うことに従う訓練」について、要約する。	【読】カードを書くために自分が必要な言葉に着目し、「人間の言うことに従う訓練」を要約している。 (発言・ノート・教材文)
	4	○「人を安全に導く訓練」について要約する。	【読】カードを書くために自分が必要な言葉に着目し、「人を安全に導く訓練」を要約している。 (発言・ノート・教材文)
	5 (本時)	○盲導犬について知りたいことをもとに答えを教材文の中から要約し、ノートにまとめる。	【読】知りたいことの答えを教材文から見つけ、言葉を書き換えたり、補ったりしながら要約している。 (発言・ノート・教材文)
	6	○盲導犬について知りたいことをもとに答えを教材文の中から要約し、「もうどう犬 ものしりカード」にまとめる。	【読】知りたいことの答えを教材文から見つけ、「もうどう犬 ものしりカード」にまとめている。 (もうどう犬 ものしりカード)
第三次	7	○選んだ本の中から「はたらく犬 ものしりカード」をつくる上で必要な情報を取り出す。	【読】本や文章から見付けた疑問や課題を解決するために読みたい内容と関連する他の本や文章を探して読んでいる。 (行動・ノート)
	8・9	○「はたらく犬 ものしりカード」を作る。	【読】調べて分かったことを整理して要約し「はたらく犬 ものしりカード」にまとめている。 (はたらく犬 ものしりカード)
	10	○友だちと「はたらく犬 ものしりカード」の交流をする。	【関】働く犬に興味をもって読んだり、進んで感想を伝えようとしたりしている。 (発言・付箋)

7 学習の展開

第一次 1時間目 (1/10)

(1) 目標 働く犬に興味をもち、これからの学習の見通しをもつことができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 ペットとして飼われている犬と働く犬の写真をみる。</p>	<p>○興味・関心がもてるようにする。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>これからの学習のめあてを知ろう。</p> </div>	
<p>2 学習の見通しをもつ。</p> <p>(1) 「はたらく犬 ものしりカード」のモデルを提示する。</p> <p>(2) 学習計画を立てる。</p> <p>(3) 教材文の題名から盲導犬について知りたいことを考える。</p> <p>(4) 自分が知りたい働く犬を選び、それに関する並行読書をする。</p>	<p>○働く犬についての本を読んで「はたらく犬 ものしりカード」を書くという学習の見通しをもたせる。</p> <p>○単元全体の流れを提示する。</p> <p>○学級文庫にも「はたらく犬」コーナーを設け、自由に読み進める環境を用意し、並行読書への意欲付けを図る。</p> <p>☆「はたらく犬ものしりカード」を作ることに興味を持ち、自分が読む本を選び、読もうとしている。</p> <p>【関】(発言・行動・ノート)</p> <p>※教師のモデルからイメージを持たせる。</p>
<p>3 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>家庭学習 いくつかの段落にわかれているか番号をつけて全文を音読してくる。</p> </div>	<p>○次時は、教材文を「始め」「中」「終わり」の3つに分けることを知らせる。</p>

第二次 1時間目 (2/10)

(1) 目標 自分の疑問が文章のどこにあるかをはっきりさせるために、文や段落相互の関係を
とらえて、大まかな構成をつかむことができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
1 全文を通読する。 2 本時の課題をつかむ。	○家庭から書いてきた段落番号を確かめながら音読させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">教材文を「はじめ」「中」「終わり」に分けよう。</div>	
3 課題を解決する。 (1) はじめ、中、終わりに分ける。 (2) 交流する。 ・全体 (3) 並行読書	○順序を表す言葉や中心となる文や語に着目させる。 ※教材文にサイドラインを引かせて考えさせる。 ○各段落の書き出しや指示語、文末表現、大事な言葉や例、主語述語の関係を手掛かりにさせる。 ☆指示語や接続語を手掛かりに文や段落相互の関係をとらえて、文章を読んでいる。 【言】(発言・ノート・教材文) ○「はたらく犬 ものしりカード」の手掛かりにしたいページに付箋をつけさせる。
4 次時の学習について知る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> 家庭学習 人間の言うことに従う 訓練とは何なのかを意識 しながら音読をしてくる。 </div>	○次時は、「人間の言うことに従う訓練」について要約することを伝える。

第二次 2時間目 (3/10)

- (1) 目標 「人間の言うことに従う訓練」について、カードを書くために自分が必要な言葉に着目して要約することができる。

(1) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 前時の学習を思い出す。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">「人間の言うことに従う訓練」を要約しよう。</div>	<p>○児童用の学習の流れを見て想起させる。</p>
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 「人間の言うことに従う訓練」について書かれている段落を音読する。</p> <p>(2) どんな訓練か説明するために中心となる文や自分のカードに必要な言葉を見つける。</p> <p>(3) 要約をする。 ・個人 ・ペア ・全体</p> <p>(4) 並行読書</p>	<p>○児童にとって大事な言葉や中心文を探しながら音読するように意識付けをさせる。</p> <p>○中心文を赤のサイドラインで引かせる。</p> <p>○「人間の言うことにしたがう訓練とは、() です。」という答えになるように、50字から100字以内で要約させる。</p> <p>☆カードを書くために自分が必要な言葉に着目し、「人間の言うことに従う訓練」を要約している。 【読】(発言・ノート・教材文) ※書きにくい児童にはヒントカードを渡す。</p> <p>○「はたらく犬 ものしりカード」の手掛かりにしたいページに付箋をつけさせる。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>家庭学習 人を安全にみちびく訓練とは何なのかを意識しながら音読をしてくる。</p> </div>	<p>○次時は、「人を安全にみちびく訓練」の要約をすることを知らせる。</p>

第二次 3時間目（4／10）

(1) 目標 「人を安全に導く訓練」について、カードを書くために自分が必要な言葉に着目して要約することができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 前時の学習を思い出す。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p>	<p>○要約する手順やポイントを確認させる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">「人を安全にみちびく訓練」を要約しよう。</div>	
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 「人を安全に導く訓練」について書かれている段落を音読する。</p> <p>(2) どんな訓練か説明するために中心となる文や自分のカードに必要な言葉を見つけ、要約をする。</p> <p>(3) 交流する。 ・ペア ・全体</p> <p>(4) 並行読書</p>	<p>○児童にとって大事な言葉や中心文を探しながら音読するように意識付けをさせる。</p> <p>○中心文を赤のサイドラインで引かせる。 ○「人を安全にみちびく訓練とは、() です。」という答えになるように、50字から100字以内で要約させる。 ☆カードを書くために自分が必要な言葉に着目し、「人を安全に導く訓練」を要約している。 【読】(発言・ノート・教材文) ※書きにくい児童には、個別に問いかけながら書かせる。必要であればヒントカードを渡す。</p> <p>○ペア対話で互いの文章のよさや修正が必要な点を話し合わせる。</p> <p>○「はたらく犬 ものしりカード」の手掛かりにしたいページに付箋をつけさせる。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>家庭学習 もうどう犬の訓練について知りたいことの答えを見つけながら音読をしてくる。</p> </div>	<p>○次時は、もうどう犬について知りたいことの答えを要約することを伝える。</p>

第二次 4時間目（5／10） 本時

(1) 目標 盲導犬について知りたいことをもとに、答えを教材文から見つけ要約することができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 前時の学習を思い出す。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p>	<p>○要約の仕方について確認する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">もうどう犬について知りたいことの答えを要約しよう。</div>	
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 盲導犬について知りたいことの答えを要約する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人 ・ペア対話 <p>(2) 要約した文を全体で交流する。</p>	<p>○興味をもったことをはっきり説明するために中心となる文や、カードに書くために必要な言葉に線を引かせる。</p> <p>○答えに該当する教材文を分かりやすく書き換えたり、言葉を補ったりして要約させる。</p> <p>☆知りたいことの答えを教材文から見つけ、言葉を書き換えたり、補ったりしながら要約している。</p> <p>【読】(発言・ノート・教材文)</p> <p>※要約しにくい児童には、ペアで話したことをもとに短くまとめさせる。</p> <p>○交流の仕方の視点を知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知りたいことの答えになっているか。 ・同じことの繰り返しはないか。 ・分かりにくいところはないか。
<p>4 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>家庭学習 学習して分かったこと を国語日記に書いてくる。</p> </div>	<p>○次時は、「もうどう犬 ものしりカード」にまとめることを知らせる。</p>

(3) 評価規準

B 概ね満足できる状況

◆疑問に対する答えについて、教材文の中の必要な言葉や文を使って要約している。

Qもうどう犬とはどんな犬か。

Aもうどう犬も、はたらく犬のなかまです。もうどう犬は、目の不自由な人が、町を安全に歩けるように、目の代わりになって助ける犬です。

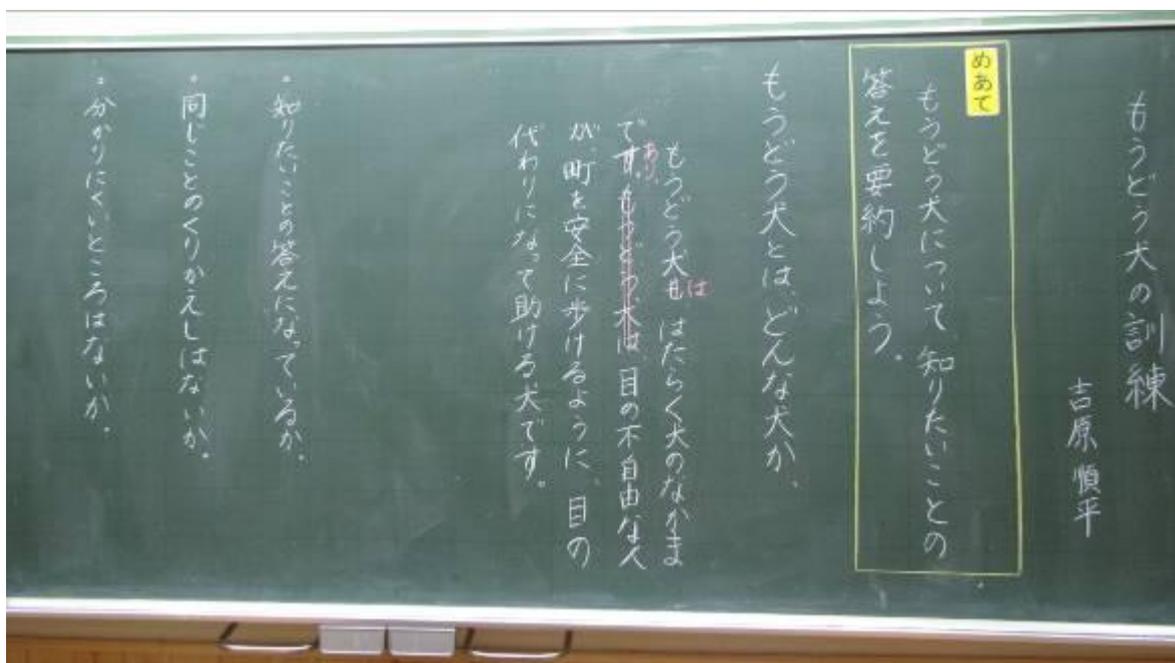
A 十分満足できる状況

◆疑問に対する答えについて、教材文の中の必要な言葉や文を使って、分かりやすく書き替えたり、言葉を付け足したりして要約している。

Qもうどう犬とはどんな犬か。

Aもうどう犬は、はたらく犬のなかまであり、目の不自由な人が、町を安全に歩けるように、目の代わりになって助ける犬です。

(4) 板書計画



第二次 5時間目（6／10）

(1) 目標 盲導犬について知りたいことをもとに、答えを教材文から見つけ「もうどう犬 ものしりカード」にまとめることができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 「もうどう犬 ものしりカード」にまとめよう </div>	
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 「もうどう犬 ものしりカード」に書く内容を確認する。</p> <p>(2) 「もうどう犬 ものしりカード」を書く。</p> <p>(3) 班で交流する。</p>	<p>○表には自分が抱いた疑問とはたらく犬の絵、裏には疑問に対する答え・調べた人の名前・本がある所・調べた本の情報（本の題名、出版社、発行年）を書くことを伝える。</p> <p>○要約をするポイントを黒板に掲示し、確認がいつでもできるようにしておく。</p> <p>☆知りたいことの答えを教材文から見つけ、「はたらく犬 ものしりカード」にまとめている。 【読】（もうどう犬 ものしりカード）</p> <p>※ノートを活用し、前時までの学習を振りかえさせることでカードを書くことができるようにさせる。</p> <p>○読み合う時間を決めて交換させる。 ○読み合った後、感想を交流させる。</p>
<p>3 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 家庭学習 自分が選んだはたらく犬の必要な情報を見付けながら音読をしてくる。 </div>	<p>○次時の学習では、自分が選んだはたらく犬の必要な情報を取り出すことを伝える。</p>

第三次 1時間目（7／10）

(1) 目標 並行読書で読んできた本の中から、「はたらく犬 ものしりカード」をつくる上で必要な情報を取り出すことができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「はたらく犬 ものしりカード」に必要な文や言葉を見つけよう。</p> </div>	
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 「はたらく犬 ものしりカード」に必要な文や言葉に線を引く。</p> <p>(2) ペアで交流する。</p>	<p>○中心文を見つけることや疑問に対する答えに線が引けているかどうかを意識させる。</p> <p>○疑問に対する答えに線が引けているかどうかペアで確認する。</p> <p>☆本や文章から見付けた疑問や課題を解決するために読みたい内容と関連する他の本や文章を探して読んでいる。</p> <p>【読】(行動・ノート)</p> <p>※児童が抱いている疑問を一緒に確認し、必要な文や言葉に線を引くことへの見通しをもたせる。</p> <p>○交流する視点を提示し、意識させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知りたいことの答えに線が引けているか。 ・同じことに線が引かれていないか。
<p>3 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>家庭学習 線を引いた文や言葉が つながるように考えてく る。</p> </div>	<p>○次時は「はたらく犬 ものしりカード」を作ることを知らせる。</p>

第三次 2時間目（8／10）

(1) 目標 自分の書きたい働く犬についての「はたらく犬 ものしりカード」を作ることができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「はたらく犬 ものしりカード」を作ろう。</p> </div>	
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 「はたらく犬 ものしりカード」の書き方を確認する。</p> <p>(2) 「はたらく犬 ものしりカード」を書く。</p>	<p>○要約の仕方を提示しておく。 ○本や資料の名前も記録することを知らせる。</p> <p>○文章を書くポイントを意識させる。 ・知りたいことの答えになっているか。 ・同じことを書いていないか。 ・文章がつながっているか。</p> <p>☆必要な情報は何なのかを考えながら読み、要約して、「はたらく犬 ものしりカード」にまとめている。 【読】(はたらく犬 ものしりカード)</p> <p>※書くのに困っている児童には、「もうどう犬 ものしりカード」を見せ、手がかりとするよう個別支援をする。</p>
<p>3 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>家庭学習 自分が選んだはたらく犬の資料を読んでくる。</p> </div>	<p>○次時は、「はたらく犬 ものしりカード」を仕上げることを伝える。</p>

第三次 3時間目（9／10）

(1) 目標 自分の書きたい働く犬についての「はたらく犬 ものしりカード」を作ることができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 前時の学習を思い出す。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">「はたらく犬 ものしりカード」を作ろう。</div>	<p>○前時に書いた紹介カードを確かめさせる。</p>
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 「はたらく犬 ものしりカード」を書く。</p> <p>(2) グループで交流し、感想を伝えあう。</p>	<p>○書き終わった児童は、二つ目の紹介カードを書いてみるよう伝える。</p> <p>○交流する視点を示しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知りたいこと答えになっているか。 ・同じことを書いていないか。 ・文章がつながっているか。 <p>☆調べて分かったことを整理して要約し「はたらく犬 ものしりカード」にまとめている。</p> <p>【読】（はたらく犬 ものしりカード）</p> <p>※完成した「はたらく犬 ものしりカード」をモデルにし、書きぶりを参考にさせる。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>家庭学習 自分が作成した「はたらく犬 ものしりカード」をお家の人に紹介する。</p> </div>	<p>○みんなで「はたらく犬 ものしりカード」を交流しあうことを伝える。</p>

第三次 4時間目（10／10）

(1) 目標 友だちと「はたらく犬 ものしりカード」を読み合い、感想の交流をすることができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
1 前時の学習を思い出す。 2 本時の課題をつかむ。	○作成した「はたらく犬 ものしりカード」を机上に準備させておく。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">「はたらく犬 ものしりカード」を読み合い、感想を交流しよう。</div>	
3 課題を解決する。 (1) 交流の仕方を確認する。 (2) 交流する。 ・学級 ・学年	○感想は付箋に書き、感想コーナーへ貼るようにする。 ○学級場で代表者数名に紹介させ、多くの働く犬に興味をもつことができるようにする。 ☆働く犬に興味をもって読んだり、進んで感想を伝えようとしていたりしている。 【関】 (発言・付箋) ※どのカードを読むか迷っている児童には興味のある働く犬から読んでいくように声をかけ、関わりを促す。
4 単元全体をふりかえる。	○この学習を通して学んだことや気がついたことなどを振り返らせる。 ○今後の読書活動へとつなげる意欲を持たせる。